

夕 歩 道

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です

FWの流れ

【FWの目標】

川利用にあたっての問題解決

【FWの実施】5回 (H23~26)

【今回第27回流域会議】

FWの振り返り 課題整理

【具体行動：モデルケース実施】



FWの経緯

第1回：清幌床止の魚道、治水関連の石碑
(保原元二像等)等を見学

第2回：南学田揚水機場
遺構、川端ダム、夕張シューパロダム建
設現場を見学

第3回：清幌床止を川歩き&魚採り

第4回：河道拡幅とショウドウツバメ営
巢地、幌向川堤防、架橋工事、清真布川軟
弱地盤工事現場見学

第5回：川下り(長栗大橋~ショウドウツ
バメ営巢地付近の河原)

●日時：平成26年2月6日(木)
●場所：栗山町駅ステーション

第27回 夕張川流域会議

概要

今回の流域会議では、河川利用をテーマに行われてきたフィールドワーク(以下FW)の振り返りと特別講演「マッチ工場の悲劇―明治31年洪水の再現」が行われました。

FWの振り返り(課題整理)

- ◆ 会議で出された意見が最終的にどう反映されるか、またどう対応してきたかを整理する必要がある。
- ◆ 治水だけでなく川本来の機能を活かす川づくり、北海道ならではの川づくりをすることが大切だ。
- ◆ 濁った夕張川だが、子ども達に利用されるようになったのは川の活動、指導者の成果だ。
- ◆ マルタウグイが産卵する等、ちよつとした工夫で夕張川が豊かになってきたがこれも流域会議があったからと信じたい。
- ◆ サケが産卵できる場を作ることが、治水面でもいい川になることがわかってきた。
- ◆ フィールドワークで現場を直接見て、説明を聞き勉強になった。いろいろな発見があったのでフィールドワークは続けたい。



「マッチ工場の悲劇=明治31年洪水の再現」の概要

特別講演

講演では、夕張川流域でマッチ工場が流失、たくさんの溺死者が出た明治31年の洪水をモデルケースに洪水のシュミレーション画像が紹介され、さらにショウトカット等の治水工事で洪水が排水されやすくなり、水害が減少したこともシュミレーション画像で確認ができました。また洪水ハザードマップの課題や中小河川氾濫や内水氾濫の解決策等も紹介されました。

一般財団法人北海道
河川財団理事長
鈴木英一氏



講演の感想、意見

- ◎ 講演では岩見沢の氾濫の話も出てきたので、役所に帰って講演内容を知らせたい。
- ◎ 講演では、シューパロダム完成後洪水が起きにくくなるということだが、平常時の水位はどのようになるのだろうか。
- ◎ 講演で改めて夕張川が洪水の危険を内包する川ということがわかった。



北海道いい川づくり研修会

いい川(ヒトも生き物も喜ぶ川)づくりの実践研修

- ★日時：平成 25 年 11 月 15、16 日 (金、土)
- ★講演場所：栗山町雨煙別小学校コカコーラ環境ハウス
- ★現地視察：夕張川、ハサンベツ川

平成18年の「多自然川づくり基本指針」を受けて、全国各地で研修会が開かれるようになり、北海道でも平成22年札幌で「日本のいい川シンポジウムIn北海道」が開催されました。本研修会はこれらの経緯を踏まえ更なるスキルアップを目指し、いい川(ヒトも生き物も喜ぶ川)づくりを実践するため、講演や現地視察等が行われました。講演では、全国の多自然川づくりの動向、サケの生態と河川環境の関わり、川づくりと地域の関わり等について話があり、事例として夕張川の河道拡幅や忠別川の多自然川づくりが紹介されました。2日目は夕張川、ハサンベツ川(夕張川支流)で現地視察がありました。研修会は次年度も開催される予定です。

プログラム

- (15日) 講演：①多自然川づくり全国の動向と今後の方向及び北海道における課題、②川を利用する側から考える、③事例報告(夕張川、忠別川)、④パネルディスカッション～「全ての生き物にとって安全・安心な川づくり」
- (16日) 現地視察：夕張川 河道拡幅によるショウドウツバメ営巣地保全、ハサンベツ川 水に自由度を与えた川づくり



講演会の様子



現地視察の様子

- 時期：夏鳥
- 生息環境：平地から山地の森林、疎林、灌木林
- 生息状況：全道に広く分布。堤防、河川敷上で最も見かける種の一つ。
- 行動：オスは繁殖期に枝先など目立った場所でさえずる。林内の低木、地上で主に昆虫や草の種子を食べる。あまり高くない木の枝上、笹原や草地の地上に営巣する。



▲足にリング状の標識を装着



かすみ網にかかったアオジ

※標識調査：環境省の調査で山階鳥類研究所が一括して管理、バンダー資格者のみ実施できる。捕獲した鳥の種、性別、成鳥か幼鳥かを確認し記録する。

夕張川でもたくさん
の鳥をみる事が
できます。写真は夕
張川の河川敷で行わ
れた標識調査(※)
の網にかかったアオ
ジです。アオジとい
う名前には緑色とい
う意味があるそうで
すが、お腹あたりが
黄緑色という感じで
す。メスは茶褐色が
強くなるようです。
本州東北方面に渡り
越冬する鳥で、昆虫
だけでなく植物も食
べます。堤防付近の
草地でよく見ること
ができます。

夕張川の生き物たち

アオジ